

CONTENTS

▼コラム

- ・わかり易い土木26
地震被害想定の話1
：矢代晴実

▼フォーラムから

- ▼「土サミット」から生まれた全国建設発生土リサイクル協会の役割
：小重忠司
- ▼土木学会委員会等をつなぐ活動の紹介
・突如として訪れたオンライン講義
：伊代田岳史
・高専土木とは何か？
：目山直樹

▼フレンズコーナー

- ・「土木の価値と使命」を伝える活動
：松永昭吾

▼事務局通信

CNCPP通信

VOL.99／2022.7.5

■今月の土木■



【上】トンネルの医者となって健康診断を行うちびっ子たち。ハンマーを持つ子どもから聞こえてきた「トンネルの音が聞こえたよ」は名言。

【右】橋の医者となって治療を行うちびっ子たち（写真は左官体験）



■「デミーとマツ」の土木本物体験イベント

夏は暑くて、冬は寒い。きつい作業もあるし、汚れることもある。しかし、現場ではさまざまな職種の人たちが仕事に誇りを持ち、使命感と責任感を持って生き生きとした表情で仕事をしている。土木は社会問題を解決するためのものづくりである。すべてオーダーメイドで造られる土木構造物は、それぞれがそれぞれの使命を負っている。その価値やものづくりの喜びを感じさせるには、子どもたちに本物を体験させ、好奇心を沸き立たせ、体験を通じて失敗をさせ、大人への憧れを持たせることが何より大切なことだと信じている。

（噂の土木応援チームデミーとマツ 松永昭吾）

▼フレンズコーナーに続く。



●今月のフレンズは、
土木学会インフラパートナー団体の仲間です。



インフラパートナー
JSCE 土木学会